

えほんのおへや通信



サンガこども園

2013年9月1日(日)発行 サンガこども園

8月もあっという間に過ぎ去ってしまいました。真夏日と大雨の月。異常気象なのでしょうか。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」9月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「こくこく こっくん」

伊ノノブ・ガソートル文 / バーナズ・ボホルマー絵 / 津田紀子訳

羊のお母さんたちが家に着くと、赤ちゃんが走ってきて、自分のお母さんを見つけて「こくこくこっくん」と、おっぱいをおなかいっぱい飲みました。モンゴル人の若い画家が描くぬくもりのある絵本です。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「はなくんくん」

ねじめ正一文 / 亀澤裕也絵

ぼくがパン屋さんの前でパンのいい匂いを吸い込んでいると、向こうからおおきな犬がやってきて、パンの匂いをはなくんくん。横取りされるものかと、ぼくも負けじとはなくんくん。すると、はなくんくんが街中に広がって…。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「ふるおうねずみ」

井上洋介 文・絵

屋根裏に古くて大きなねずみがすんでいる。だれも知らないけれど、ぼくは「ふるおうねずみ」と呼んでいる。ふるおうねずみは、木登りごっこや滑り台にもなってぼくと一緒に遊んでくれる。



こどものとも

5～6歳向き

「サンゴのしまのポポ」

崎山克彦作 / 川上越子絵

少年ポポは南の島で幸せに暮らしています。ところが親友ラモンが、悪い精霊オゴにとりつかれ、不思議な赤い網を使って島の周りの魚を乱獲しはじめます。フィリピンの島に伝わる精霊の存在に着想を得た創作物語です。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「くりくり くりひろい」

澤口たまみ文 / サイトウマサミツ絵

ぼくは、くりごはんがだいすき。「くりは近くの林でもひろえるのよ」と、おかあさんがくりひろいにつれてきてくれた。でも、くりはどこ？ えっ、このトゲトゲの中？



他にこんな絵本も購入しました。

ピン・ポン・バス

作：竹下文子 絵：鈴木まもる

3歳～4歳

ピン・ポン・バス



偕成社

駅前を出発したバスは、いろんな停留所でピンポンとなって止まります。少し田舎町ののどかなバスの旅、絵の中でたくさんストーリーが進行しています。人物の表情、しぐさ、風景、特に夕焼けは絶景です。

日本図書館協会選定図書

※年齢は目安です。

【雑感】

日本列島をおおう大気が不安定な状態が続き、局地的に豪雨が襲っています。山口、島根両県に大きな被害をもたらした豪雨は「これまでに経験したことのない大雨」と気象庁から発表されました。昨年7月の九州北部豪雨で初めて使われた表現で、簡潔に警戒・避難を呼び掛けるものです。

警戒情報に関し、気象庁は従来の「注意報」「警報」に、8月30日から切迫度の高い「特別警報」を加えて3段階としました。

特別警報は数十年に一度の災害が迫った際に発令されます。今回の中国地方の豪雨はそれに相当します。「経験のない」予報を生かすには、日ごろの心構えが必要です。

9月1日は「防災の日」です。

